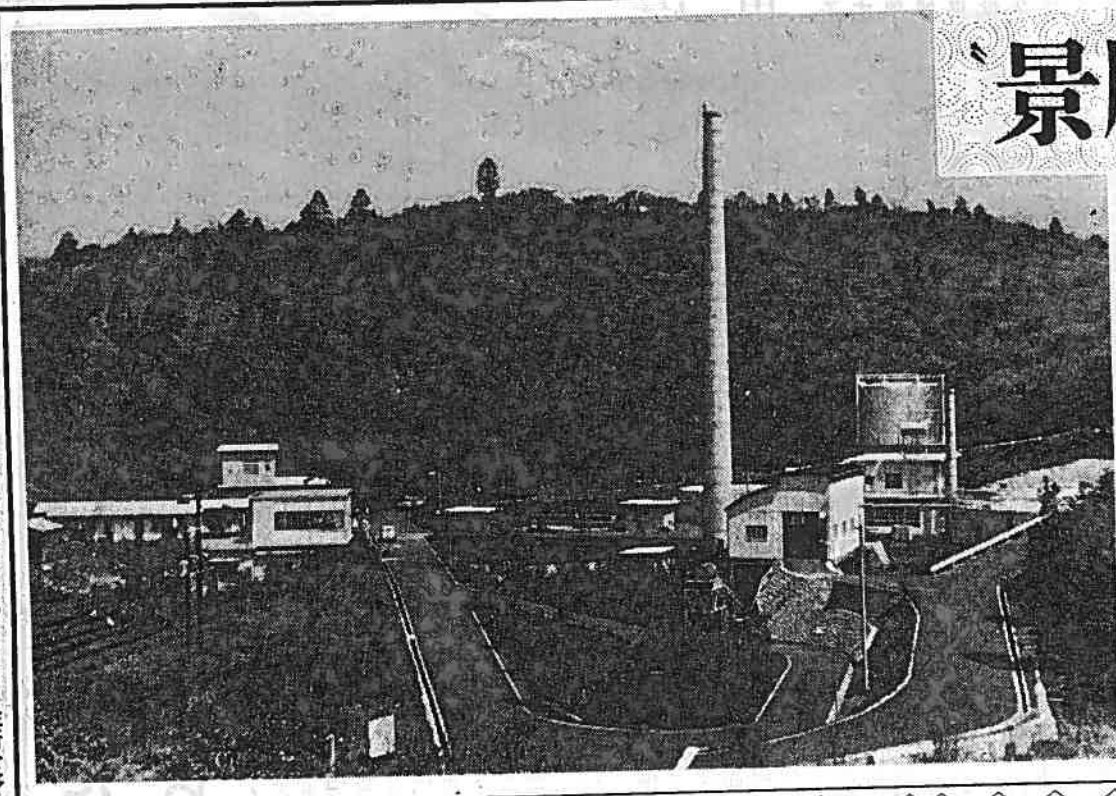
第32号
5月
昭和38年5月1日
全世帯配布

広報よしわら

発行所
吉原市役所
吉原市今泉43の1
電話（代）700番
編集 文書課
印刷
富士ニュース社

市勢			
東経 138度41分	人口		
北緯 35度09分	国勢調査（35.10.1現）		住民登録 38.3月31日現在
東西 14.7粁	総数	80.944人	84.190人
南北 25.5粁	男	40.547人	42.350人
面積 174.56平方粁	女	40.397人	41.840人
	16.239世帯		17.609世帯



景勝、規模、日本一

吉原市清掃作業所完成

一日九万人分を処理

し尿・ごみ焼却炉も併設

近年における、経済の急速な発展は、国民生活をすばらしい勢いで向上させています。しかし裏をかえせば日常生活の基本問題である環境衛生施設（し尿・ごみ処理、上下水道など）の普及は、なお不十分で、生活内容にはかなりアンバランスな点があります。吉原市では、いち早くこれに重点をおき、〃汚物を衛生的に処理し、市民の生活環境を清潔にすることで公衆衛生の向上を図る〃の目的に、昭和三十六年九月から三カ年計画で市内大淵字八ケ久保（久保町）に敷地面積三八、二三〇、五平方米（一一、五八五坪）工事費約一億八千万円を用し行なついた〃吉原市清掃作業所〃もついに完成、その落成式が去る四月十六日敷地内の即成会場で盛大に行なわれ、五月中旬には運転も開始される予定です。

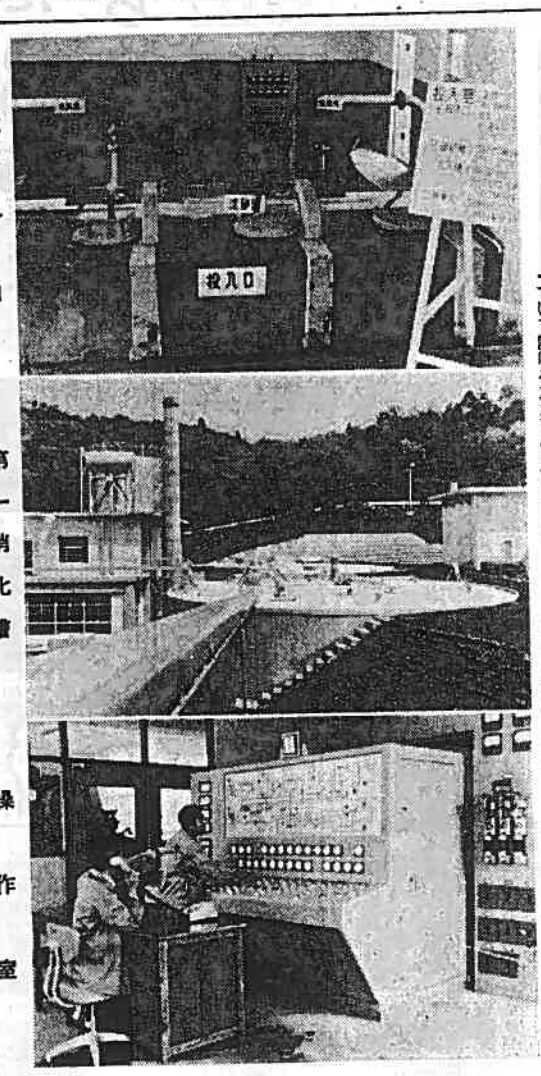
同じ敷地内に、し尿処理施設とごみ焼却炉を設置し、合理的運営を図ろうとするこの作業所は、高低ある地形を有利に活用して自然流下の設備配置をとつています。また投入し尿に混つている夾（きょう）雑物は、スクリーンにかけて取り除くという不衛生的な方法はさけ、破砕処理するようにしたので、夾雑物除去操作における不潔な悪臭はなくなり、消化機能の促進に役立たせることができます。

ちなみに、施設建設当初における基本方針をみますと、

◇消化効率がよく、清澄な放流水を得られること。
◇防臭、除臭の設備を完備すること。
◇構造は非常に丈夫で、なお腐蝕性に充分たえられること。
◇操作はやさしく、管理しやすいうえ安全なこと。
◇災害にあつても、びくともしない構造機構であること。
◇維持経費が少なくてすむこと。
◇構造物に清潔感をもたせるため形状、色彩などに気をくばり、遊園すること。

などがあげられています。

これらの要求も含め、近代感覚を十分に取り入れた作業所は、都心部から北へ約四キロの高台にあり、交通の便もよく、四方を美林が取りまくという恵まれた環境の中にあり、景勝、規模共に現在我国第一のものです。



投入口　第一消化槽　操作室

ゴミは トラック 五台分

〃加温式し尿消化装置〃を取り入れたこの施設は、一日九十キロリットル（し尿一人一日の排出は約一リットル）、人口にして九万人分を完全に処理できます。

この加温式消化装置とは、ごみ焼却炉に温水器（五十本のパイプに水を入れ炉の余熱で約八十度の温水にする）を設けそこでできる温水をボイラーに送り、加熱させて蒸気にします、それを直接消化槽に吹き込んで加温するものです

一方、併設されたごみ焼却炉は、強制通風式連続平型炉という最新式のもので、一日の処理能力は二十五トン（貨物自動車に約五台分）です。なお昭和四十年には、更に二十五トンものをふやし、一日五十トンを処理する計画です。

し尿が放流されるまでの過程について説明を加えてみますと、まず一般家庭からくみ取られてくるし尿は、投入槽に一時貯溜され、消化槽に送られ、そこで約一カ月間消化することで、ガスと脱離液汚泥の三つにわけられます。

このガスは、タンクに貯えられボイラーの燃料となり消化槽加温の熱源（余りはごみ焼却炉へ）となります。

脱離液は、約四十倍にうすめられ散布ろ床、最終沈澱槽、塩素滅菌槽で順次処理されて放流されます。また汚泥は、操作室の汚泥処理装置により真空脱水（水分を完全にとり去る）され、ごみ焼却炉で灰にされてしまうわけです。

文化生活の普及に伴ない、一方各種工場及び企業の進出も目立ち市内における汚物処理量の激増は衛生的処理の行き詰りをますます深刻化し、その処理態勢を危地においこんでいた矢先だたに、清掃作業所の完成はタイミングよく、臨海工業都市として躍進著しい吉原市にふさわしいものでしよう。

住宅も完備

清掃作業所の概要は次の通りです

◆事業費

①用地購入費（清掃作業所、水源地、配水池、進入路）
＝八、〇一七、二八〇円
②し尿処理施設工事
＝九三、五〇〇、〇〇〇円
③ごみ処理施設工事
＝一五、一〇〇、〇〇〇円
④給水設備工事
＝二〇、二七五、五三九円
⑤場内道路工事
＝一〇、三八〇、〇〇〇円
⑥場外放流管布設工事
＝四、三一三、六四〇円
⑦附属設備工事
＝一〇、九六〇、〇〇〇円
⑧場内整備費
＝七、五一〇、〇〇〇円
⑨久保町線改良事業費
＝五、九七八、六四〇円
合計 一七五、九三五、〇九九円

◆設計施工

し尿消化槽＝日本衛生工業株式会社
ごみ焼却炉＝岩本工業株式会社
附属設備＝株式会社保坂組

◆附属設備

①管理事務所及び住宅
②車庫及び休憩室
③職員住宅（三棟、六戸）
④浴室

市民のため一段と努力

落成の喜びを語る市長

清掃作業所落成式はあいにくの雨にたたられながらも関係者約二〇〇名を迎え盛大に行なわれました。霧い霧につつまれた式場で金子市長は完成の喜びを「このように地の利に恵まれた絶好、最適の場所を得ることができたのも、ひとえに地主、地元民各位の深い理解と熱意あふれる協力があつたからです。完成をみた作業所は、優れた自然美に人工美を最大限に生し見事な調和を示し、自他ともに日本一を誇り得る、全く期待どおの他に類例のない施設であると確信、優れた施設機能を十分に活用するのはもちろん、更に現在市街地造成に併行して進捗中の下水道施設の早期完成を期し、この上とも健康で明るい市民の文化向上に努力する所存です」と語りました。引き続き会場は市民会館に移され落成を祝う披露宴が行なわれ、列席者全員によるバンザイ三唱により閉会となりました。

〔市役所〕課の一部が改正

環境衛生課など新設

去る四月二十日、議事堂で開かれた吉原市議会臨時会で市役所課設置条例の一部改正が提案可決され五月六日より施工されることになりました。

このため、社会課、衛生課、保健課、環境衛生課、年金課が新たに設置されます。

なお、くわしくは5月臨時号に掲載します。

ご存知ですか 危険物の規則

最近、事業所や一般家庭において燃料として石油類を扱う機会が多くなつています。

これらの燃料は、火災を起しやすいきわめて危険なものです。

ところが消防法において、石油類は危険物として規定され、ある数量（指定数量、例えば、ガソリンなどは一〇〇リットル、灯油などは五〇〇リットル）以上のドラム罐の貯蔵、自家用自動車に給油するには資格者（危険物取扱主任者）をおかなければいけない、など消防法による完全な構造や設備をしなくては貯蔵したり、取扱うことはできません。

なお、これら危険物を無許可で指定数量以上取扱うと法により罰せられますから使用にあたつては充分注意してください。

詳しくは消防本部予防係（電話四七四番）にお問合せ下さい。

道路に物をおかないように

最近、道路に物を置いたり、駐車禁止区域にもかかわらず車輌を止めてあるのがよく見受けられます。これでは円滑な交通はおろか道路を一層狭くしてしまい交通事故の原因にもなりかねません。

道路は公のもので、私用するものではありません。お互に注意し次のことを守りましよう。

▼道路に商品、商品台などを放置しないこと。
▼広告板、飾塔、日除けなどを無断で道路に張り出さないこと。
▼道路に建築材料を置いたりしないこと。

道路使用については事前に土木課に問合せてください

3月の交通事故

		今年の累計
件数	73	195
死者	6	11
負傷者	34	97
物損	3,551 単位千円	9,497 単位千円

交通標語　乗る気持ち、歩く気持ちでゆずり合い。

◉住所はいつもはつきりと！住所を移動したときは、必ず十四日以内に住民登録をいたしましよう。（市民課又は支所へ）

〃NHK吉原市だより〃は、毎週土曜日午後5時20分から（静岡第一放送）〃無線広報〃のお知らせは毎日午前7時45分と午後4時45分。